

マイナスを引きずらないための 組織内に起こる“不手際”対処の三原則

ルールだけではなく事実即した“ケジメ”方法を定める

本レポートの内容

- | | | |
|---------------------------|-------|----|
| 【1】不手際が生じる“現実”的過程を改めて考える | | 1頁 |
| 【2】叱り方を間違えると“社内トラブル”になる！ | | 2頁 |
| 【3】しかし“ルール”を決めれば問題は出ないのか？ | | 3頁 |
| 【4】案外忘れられがちな“ケジメ”や“罰則”の機能 | | 4頁 |
| 【5】不手際を“前向き”にマネージするための三原則 | | 5頁 |

マネジメント サポート



『ルールを決めても、組織運営は必ずしもうまく行かない』と言われることがあります。もしそうだとすると、いったいなぜなのでしょう。

そこで、ルールがない場合の不都合と、ルールを決めた後に生じる不都合に分け、組織の“不手際”マネージ三原則をとりまとめました。組織運営を難しくする背景には、根深い複雑さが存在するようですが、まずは三原則に沿って、運営の基本を定めるべきだと考えるからです。

SPc 労務管理センター JINJIKEN 人事労務管理研究所

〒460-0015 名古屋市中区大井町 2-11 (同所併設)

Mail : info@jinjiken.co.jp

SPc 労務管理センター

TEL : 052-331-0844

FAX : 052-321-1108

JINJIKEN 人事労務管理研究所

TEL : 052-331-0845

FAX : 052-321-1125

SR-MIC ヒューマン・マネジメント研究会

Monthly Human Management Report by SR

本レポートは経営者および経営幹部の皆様のために作成されています！